

じばさんの活動室をご存じですか



そらんぽ四日市
ホームページ

四日市公害と環境未来館には、公害や環境について①知って、②学び、③その成果を生かした活動を支援する、という三つの機能があります。③の中で、環境活動の発信や公害・環境学習の成果を実践に移す活動の場として、じばさん2階に「活動室」があります。ここでは四日市市エコパートナー（市に登録された環境活動団体など）の活動を支援したり交流の場を提供したりしています。また、活動室の廊下には、エコパートナーの取り組みや活動内容を紹介する展示をし、内容は3カ月ごとに更新しています。

活動室では、このほかにも環境に関

する活動や毎月行う環境学習講座の紹介などの情報発信をしています。

四日市公害と環境未来館にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。展示を見るだけでなく、環境学習講座で学び、その学びを生かして活動してみたいかがでしょうか。



最近の展示（トンボ研究所）

☎ 四日市公害と環境未来館 (TEL) 354-8065 (FAX) 329-5792

旅する人の助けとなった道標

皆さんは、道標をじっくりと見たことがありますか。道標は、十字路や、街道の分岐点に建てられた交通標識です。現代では、道路交通標識があるため、目に留まることがあまりないかもしれませんが、自動車が普及する前には、旅人や行商人の目印として重要な役割を担っていました。そんな道標を多く建立した人物として、服部泰次郎^{たいじろう}が挙げられます。服部泰次郎は安政元（1854）年、小杉村（現在の小杉町）に生まれました。29歳ごろに米穀商を始め、四日市港から船便で販売網を広げたことにより、県下でも有名な米穀商となったと伝えられています。

泰次郎は、若い頃行商で各地を移動した際に道に迷った経験から、大正8（1919）年に当時の三重郡役所に願い出て、郡内の1200カ所ほどにも及ぶ道標を建立しました。

泰次郎が過去の経験を生かし、後の世の人のために建立した道標を見て、当時の様子に思いをはせてみてはいかがでしょうか。



三重郷土資料館前の九つの道標

☎ 文化課 (TEL) 354-8240 (FAX) 354-4873